

Q&A

Q 最近の採用実績は？

A 平成27年度一般職試験合格者からの採用者数は本省が49人、地方支分部局が79人となっています。本省採用者は本省内の各部局や東京都内の各機関に配属されます。地方支分部局採用者は、採用された地方支分部局に配属されます。過去3年間の一般職（大卒程度）試験合格者の採用者状況は以下のとおりです。

	地方支分部局採用者		
	本省採用者	管区行政評価局行政評価事務所	総合通信局総合通信事務所
25年度試験合格者	48 (12)	33 (14)	18 (4)
26年度試験合格者	52 (18)	40 (17)	18 (8)
27年度試験合格者	49 (17)	45 (19)	34 (15)

★人数は各年度の国家公務員一般職（大卒程度）採用者数 ★カッコ内は女性の内数 ※各年度試験には10月等に採用された人も含まれます。

Q 採用はどのように決定するのですか？

A 採用担当者とななたとの面談を積み重ねて、あなたの長所・やる気・可能性などを総合的に判断して決定します。面談による人物本位の選考を行いますので、積極的に訪問していただき、あなたの魅力をアピールしてください。

Q 最初に配属されると、ずっとその部署で勤務するのですか？

A 配属された部署によって異なりますが、多くの人は2～3年に一度、別の部署へ異動することとなります。本人の希望・適性に応じて異動し、採用地以外の勤務地へ転勤する場合があります。

Q 子育てに関し、どのような支援がありますか？

A 女性職員の産前・産後休暇の取得はもちろん、男性職員も含め、子供が3歳になるまで育児休業を取得することができます。また、働きながら育児をするための勤務時間制度も用意されています。他にも、国会業務や窓口業務などを除き、テレワーク（在宅勤務）も可能です。

Q 採用後の研修は？

A 採用時に新任者研修を行うほか、業務に関連した研修や希望者を対象とした専門研修・昇進時の研修など様々な研修があります。

Q 採用後のキャリアアップについて教えてください。

A 一般職で採用となる職員は、入省後、内部部局の課・室において、係員・係長・課長補佐等として、本人の希望や適性に応じて、主に特定分野の業務（例えば行政管理、地方自治、放送行政、情報通信行政、統計など）を中心に担当することになります。ただし、必ずしも特定分野の業務のみではなく、キャリア形成の過程で、大臣官房やそれ以外の業務を担当したり、本省と地方支分部局を行き来する場合があります。また、都道府県や市町村の幹部職員ポスト等への派遣、他府省等や海外の在外機関への出向、国内外の大学等への留学の機会もあります（3～4ページもご覧ください）。

Q 総務省の具体的な業務内容を聞きたいのですが、どうすればいいですか？

A 総務省では、平成27年度を例にとると、総務省独自の業務説明会（8月5日～8月11日）、人事院主催の合同説明会（全国各地での一般職各府省合同業務説明会、霞が関OPENゼミ）等を行いました。また、いくつかの大学においても業務説明会を行いました。

平成28年度も、同様に説明会を開催いたしますので、総務省ホームページ内の採用情報にて開催日程をご確認ください。

Q 福利厚生等はどうなっていますか？

A 総務省に採用されると、総務省共済組合に加入することになり、医療給付等を受けられるほか、全国各地にある共済施設が利用できます。また、住宅資金の貸付制度もあります。